

年間授業計画様式例

第一商業高等学校令和5年度 公民・現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組)

教科担当者：

使用教科書：(高等学校 新現代社会 (帝国書院))

使用教材：(ニュース検定公式テキスト&問題集3・4級 (毎日新聞出版))

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス 選挙制度の現状と課題 「主権者教育」 経済体制の変容 経済と私たちの生活	選挙制度の原則や各選挙制度を学び、民主政治において、選挙は最も重要な制度であることを理解させ、「高校3年生 (= 18歳)」は、国家の意思形成を行っていくことができる力あふれる「主権者」であることを自覚させ、鼓舞していく。 資本主義経済は、どのような基本的特徴をもつのか理解させる。 資本主義経済の下でおこる問題点を批判して登場した社会主義は、どのような基本的特徴をもつのか理解させる。 われわれの生活の基本は、経済活動によって成り立っていることを気づかせ、経済活動の基本的な内容を理解させる。 三つの経済主体について、それぞれの役割と相互の関係を理解させる。	授業への参加・取り組み姿勢	4

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
5 月	<p>現代の企業</p> <p>市場のしくみ</p> <p>中間考査</p>	<p>一言で「企業」といっても、その種類・形態は多様であることを気づかせる。</p> <p>株式会社の特徴を理解させ、その経済への影響などを考えさせる。</p> <p>競争市場における価格はどのように決まるかを理解させる。</p> <p>寡占市場の意味や、寡占市場が形成される要因、少数の企業間の競争はどのように変化するかを理解させる。</p>	<p>授業への参加・取り組み姿勢</p> <p>中間考査の状況等を総合的に判断して評価する</p>	6

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>答案返却・解答解説</p> <p>経済成長と景気変動</p> <p>金融機関のはたらき</p> <p>財政のしくみと税金</p>	<p>一国の経済力をはかる基本的な指標である、国富・GDP・国民所得・経済成長率などについて理解させるとともに、インフレーション・デフレーションの基本的構造・景気循環(景気変動)の仕組みについて理解させる。</p> <p>日本銀行の役割と金融政策を通じた景気調整を理解させ、現実の日本経済にどのように機能しているかを考えさせる。</p> <p>財政とは、政府による経済活動であり、所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などの歳出がまかなわれていることを理解させる。</p> <p>財政の役割である、資源の配分調整・景気の調整・所得の再分配の三つがどのように機能しているかを考えさせるとともに、ビルト・イン・スタビライザーやフィスカルポリシーなど、財政に関する理論を理解させる。</p>	<p>授業への参加・取り組み姿勢</p>	<p>8</p>

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>期末考査</p> <p>答案返却・解答解説</p> <p>青年期と自己の形成</p> <p>夏季休業</p>	<p>青年期と自己の形成について理解させ、青年期を通して自分を見つめ、社会との関係を考え、社会と関わることで、自らと社会をよりよくしていくにはどのような生き方をしていくことが望ましいかを考えさせる。</p>	<p>期末考査・提出物の状況等を総合的に判断して評価する</p> <p>授業への参加・取り組み姿勢</p>	<p>4</p>

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月 夏季休業			

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	戦後日本経済のあゆみ	<p>終戦直後の日本の状況を理解させる。</p> <p>GHQによる三大経済民主化政策と日本政府による経済復興政策、ガリオア・エロア等のアメリカからの援助、朝鮮戦争などが日本の復興に役立ったことを理解させる。</p> <p>農民・労働者の生活向上が、なぜ国内市場の拡大に直結するのかを考えさせる。</p> <p>高度経済成長期の動向と政策および成長の要因について理解させる。</p> <p>戦争直後の貧しい状況と高度成長後の豊かさを実感で対比させる。</p>	授業への参加・取り組み姿勢	8

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>大日本帝国憲法</p> <p>日本国憲法の制定</p> <p>平和主義と日本の安全保障</p> <p>冷戦終結後の防衛問題</p> <p>基本的人権</p>	<p>大日本帝国憲法の制定過程・内容・特徴を理解させる。</p> <p>日本の敗戦過程と占領下における日本国憲法の成立過程を理解させるとともに、日本国憲法の基本原理を理解させる。</p> <p>憲法の平和主義と自衛隊(創設の歴史と政府の憲法解釈、裁判所の判断)について理解させるとともに、日米安保体制との歴史的関係を考察させる。</p> <p>基地問題について考えさせるとともに、現在の日本の安全保障上の問題は何かを考えさせ、その上で、平和主義を掲げる日本が世界平和実現のために何ができるかを考えさせる。</p> <p>平等権・自由権・社会権の内容について、具体的事例を通しながら理解させる。</p>	授業への参加・取り組み姿勢	8

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
12 月	<p>新しい人権</p> <p>期末考査</p> <p>答案返却・解答解説</p> <p>民主社会に生きる倫理</p> <p>冬季休業</p>	<p>環境権・プライバシーの権利・知る権利・アクセス権・自己決定権について、社会的な事象や裁判事例などを取り上げながら理解させ、望ましい解決策を考えさせる。</p> <p>民主社会に生きる倫理について理解させ、現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせるとともに、先哲に学びつつ諸課題への理解を深め、可能な限りの自己を確立させる。</p>	<p>授業への参加・取り組み姿勢</p> <p>期末考査・提出物の状況等を総合的に判断して評価する</p> <p>授業への参加・取り組み姿勢</p>	4

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>国会の運営と権限</p> <p>内閣と行政の民主化</p> <p>裁判所と人権保障</p> <p>世論の形成と政治参加</p> <p>選挙制度の現状と課題 「主権者教育」</p>	<p>国会の地位や構成、運営や権限について理解させるとともに、政治に関わるニュースを取り上げるなどして、国会の現状や改革について問題意識をもたせる。</p> <p>内閣の地位と議院内閣制について理解させるとともに、内閣の構成や権限について理解させる。</p> <p>裁判所の権限や種類、控訴・上告の違いなどを理解させるとともに、司法権の独立は、なぜ保障されなければならないのかを考えさせる。</p> <p>「選挙」以外にも様々な政治参加の方法があることを理解させ、主権者として政治に関わる姿勢を身に付けさせる。</p> <p>選挙制度の原則や各選挙制度を学び、民主政治において、選挙は最も重要な制度であることを理解させ、「高校3年生(=18歳)」は、国家の意思形成を行っていくことができる力あふれる「主権者」であることを自覚させる。</p>	<p>授業への参加・取り組み姿勢</p>	<p>4</p>

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月 期末考査 答案返却・解答解説 個別対応		期末考査・提出物の状況等を 総合的に判断して評価する	

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	個別対応	<p>※「現代社会」という、科目の特性上、適宜「ニュース」や「トピックス」を取り入れるなど、個々の生徒の実態に応じた授業を行っていくこと等から、各クラスにより進度の差や順序の変更等が生ずる場合がある（「年間を通して」同一内容を学習する）。</p>		